



ログデータ生成ソフト

ログデータ生成ソフトの
簡単な動画が見れます

現場の
可視化

設備の
可視化

改善の
ヒントに

受信表示機 LAN 仕様が
既存の無線アンドンシステムと
併用可能。

受信表示機とパソコンを LAN ケーブルで接続し、 ログデータを生成

どこでいつ呼ばれたかわかる、可視化により改善の施策を立てることができます。

例えば・・・

- 呼ばれた場所と時間と回数で、問題のある場所の特定ができます。
- 番号が表示されて消されるまでの時間で「対応速度」や「ロス時間」がわかり、人員配置を見直すきっかけになります。
- 機械のエラー信号を分析して、予知保全にもつながります。

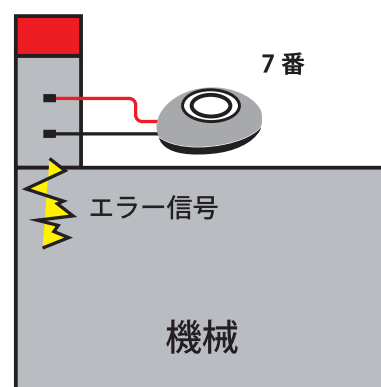
■ 受信表示機 LAN 仕様 (片面タイプ SRE-KY-LP・両面タイプ / SRE-RY-LP)



サイズ:W465×H112×D42 (片)・×D49 (両) (突起部を除く)、重量:785g (片)・949g (両)、
電源・電圧: AC100V(15VA)、消費電力: 10W/2A(片)・15W/3A(両)、スピーカー出力:
3W、使用温度: 0℃～40℃



25番



■ ログデータ生成ソフト (SLOG-CSV)

「ログデータ生成ソフト」は、「受信表示機 LAN 仕様」からのログデータを CSV ファイルに保存することができます。

またソフト起動中の表示画面では、時系列にログデータを確認することができます。

※オペレーティングシステム

Windows10 (32bit/64bit) 日本語版

Windows 8 (32bit/64bit) 日本語版

Windows 7 (32bit/64bit) 日本語版

※動作環境設定 (IPアドレス・ポート番号) は、お客様の使用環境により設定が異なるため、ネットワーク管理者に確認のうえ設定してください。

※本ソフトが起動中は、コンピューター本体がスリープおよび休止状態にならないよう設定してください。